

# 「くたばれ PTA」とその時代背景などを少し考察

2021年7月26日作成

*m. Ikegaya*

## 1. はじめに

直近、「Ado うっせえわ」を聴き感想を書いたところ、『「うっせえわ」が流行り始めた当初「くたばれ PTA」の再来だねとネットで盛り上がりました・・・作詞の方が確実に影響を受けているなあと思いました』という貴重な感想を頂けた。これを調べることから自分の中でまた新しい世界が広がるのではないかという期待と、なぜそうしたコンテンツから「目を背けてきた」のか、「存在しないこととしてきた」のかという深い反省を込めて、「くたばれ PTA」の配信開始から10年以上経った今だからこそ出来る考察を、時代背景を少し交えて行う。

## 2. 「くたばれ PTA」について

### 2.1 くたばれ PTA の概要

「くたばれ PTA」は梨本うい氏作詞・作曲・作画による VOCALOID の楽曲である。タイトルからもわかるように、1966年に筒井康隆が PTA による『悪書追放運動』を揶揄した短編小説『くたばれ PTA』をモチーフにしている。

本作品は2010年5月26日にニコニコ動画及び Youtube にアップロードされた。ニコニコ動画における現在までの再生数は1,254,249回となっている。VOCALOID の楽曲に初期から関わるようなコアなファンを要しているように思える。

梨本うい氏は本動画をアップロードするに際して「恐縮です。PTA さんごめんなさい、軽いジョークです」とコメントしているが、内面には強い社会への批判、風刺が込められていることは言うまでもない。

内容については以前まとめた『「Ado うっせえわ」の感想』に記した内容と重なる部分が多々あり、単に変化を恐れるような人間への不満と、そのような人間が世の中の仕組みを作っていること、そして自分自身はその仕組みの中で生きざるを得ないことのもどかしさを表現しているように思える。考えることを止めてしまった人々が正しいとひたすら思い込み押し付ける「御作法」や「しきたり」等の理由なき常識に対して強い不快感を示し、状況を変えられない自分へのやるせなさをそうした者へ向けざるを得ない自身に対しても一部不満を向けているようにも感じられる。考えることをしなくなった人間を“PTA”と揶揄しているのは筒井の引用とはいえセンスを感じる。

### 2.2 梨本ういについて

梨本ういについては[当人の HP](#)に掲載の平成21年時点における履歴書などを参考にすると、千葉県出身、1987年8月3日生まれ、“わかば”を吸い“いいちこ”を飲む。クレシム映画、パワプロ、水谷さくら好きなどを公言している。本質は変わらないだろうが、資料

としては古いので、本人の[ツイッター](#)を参考にすると、ライブ活動を行なっていることやツイートから常に“死”に対する強い意識と同居している様子などが伺える。2021年6月23日のツイート『表現の自由謳ってるから、作ったものに責任は負うけど「お前のせいで不幸になった」「お前のせいで身内が死んだ」とか一方的に言われたらそら凹むよ。こっちの言い分も聞いてよ。』や2020年11月19日のツイート『歌舞伎町近くに宿をとった。宿でしこたま1人酒して、なんとなく近くを散歩して、さっき宿に帰ってきた。得体の知れないダメージを受けた。都会を歩くと暗くなる。』こうした言葉は彼の内面をそのまま表していると思われる。また、2021年1月31日のツイートでは『昔作った「くたばれPTA」という曲は、筒井康隆先生の短編小説のタイトルをまんま引用したオマージュで、当時若い方やいい大人からヤイノヤイノわ言われた時は「なにこいつらマジになってんの」と思っていました。』とあり、筒井作品にも造詣がある可能性を示している。また、タイミング的にも「Ado うっせえわ」を強く意識してのコメントであることも推察される。

### 3. 「くたばれPTA」誕生時の時代背景を考える。

「くたばれPTA」が配信された当時どのような状況であったのか、当時22歳前後の大学生だったであろう梨本ういを取り巻いていた事象をまとめる。

#### 3.1 ニュース（出来事）

2009年<sup>\*1</sup>から2010年に起こった大きな出来事<sup>\*2</sup>は以下となる、

表1 2009年並びに2010年の出来事

2009年のトピックス	2010年のトピックス
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民主圧勝、政権交代。社民・国民新と連立</li> <li>・ 新型インフルの感染広がる。全国で猛威</li> <li>・ 裁判員裁判始まる</li> <li>・ 世界同時不況で電機、自動車など巨額赤字</li> <li>・ GDP、35年ぶり2けた減</li> <li>・ 足利事件の菅家さん「無実」。17年半ぶり釈放</li> <li>・ 行政刷新会議、概算要求「事業仕分け」を公開</li> <li>・ 八ツ場ダムなど国直轄ダムの建設工事見直しへ</li> <li>・ 日航の経営危機表面化、政府主導で再建模索</li> <li>・ 政府、月例報告でデフレを宣言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 尖閣沖で中国漁船衝突。映像がネット流出</li> <li>・ 大阪地検で証拠改ざん。検事、元特捜部長ら逮捕</li> <li>・ 鳩山退陣、菅内閣が発足。参院選で民主大敗</li> <li>・ 小惑星探査機「はやぶさ」が7年ぶり帰還</li> <li>・ 野球賭博で大関琴光喜ら解雇、力士多数が謹慎</li> <li>・ 円高で6年半ぶり市場介入。ゼロ金利復活</li> <li>・ 記録的な猛暑、熱中症による死者多数</li> <li>・ 宮崎県で口蹄疫、牛豚29万頭を処分</li> <li>・ 日本航空が経営破綻、改革・再生へ</li> <li>・ 普天間、「辺野古」で日米合意</li> </ul>

2009年に自民党から民主党を中心とした連立政権へ政権交代があった。予算を根本からカットする手法を取らず事業を仕分けする方法を選択し、かえって行政が混乱する事態を招いたことは記憶に新しい。もちろん、サブプライムローン債の破綻から始まったリーマンショックの影響が続いている最中、大手企業では40代以上の管理職を中心に人員整理が多く行なわれた。また、ソニーなどがリストラ部屋を作り社会問題化している。リストラ＝経営改革と勘違いした会社が多く生まれた時期ともいえる。当然のことながら新規卒業者

の採用も大きく抑制され、本来就職活動を行わず研究室主導で就職先があてがわれるような工学部機械学科などの学生も就職から溢れる事態となった。内定取消しも相次ぎ、2010年の就職率は60.8%にまで落ち込むと共に、全国の有効求人倍率は0.5を割る事態となった。2009年に当時の北大生が勤労感謝の日に札幌で就活くたばれデモ実施するなど、大きな混乱もあったが、こうした新卒学生のおかれた状況はあまり報じられなかったことも事実である。同時にネットカフェ難民が急増しこちらも社会問題化した。

株式相場も低迷し、資金繰りのための上場企業の増資も相次いでいる。日本円の価値が高まり、輸出系企業にとっては大きな向かい風の時期ではあったが、その裏で生き残りを賭けた海外企業へのM&Aも盛んに行なわれていた。

また、トピックスにもあるように日本航空が事実上の経営破綻をし、100%減資の新会社として再出発することとなった。2009年の衆議院選挙では当時の総理大臣の麻生太郎がアニメ文化を理解している姿勢を示すため秋葉原にて大々的に選挙演説を行なったと記憶しているが、マスコミの政権批判報道がピークだった時期とも重なるのではないだろうか。

一連の中で最も重要な事象は、障害者割引郵便制度の悪用に絡む偽証明書発行事件で、押収した証拠品のフロッピーディスクの文書データを改ざんしたとして、証拠隠滅容疑で事件の主任だった大阪地検特捜部の前田恒彦検事が逮捕、そしてその後有罪となったことである。立憲制のこの国においてそれを守る立場の者（地検）が証拠を書き換えた事件は、根本から制度を考え直す機会ともなった。

いつの時代も大手マスコミは不安を煽り、社会を混沌としたものを感じさせるが、2009年、2010年は大きな政変や政情不安、行政への信用失墜を抱えた時期といつてよい。

### 3. 2 当時のヒットチャート

「くたばれPTA」配信開始時に流行っていたヒットシングルを観ると、2009年、2010年共にジャニーズ事務所所属タレントの曲がほぼ上位を占めているが、2010年においてAKB48が始めてトップ3を独占している。

表2 年代別 年間ヒットシングルチャート

2009年ヒットシングル※3	2010年ヒットシングル※4
1. Believe／曇りのち、快晴 嵐	1. Beginner AKB48
2. 明日の記憶／Crazy Moon 嵐	2. ヘビーローテーション AKB48
3. マイガール 嵐	3. ポニーテールとシュシュ AKB48
4. イチブトゼンブ／DIVE B'z	4. 果てない空 嵐
5. RESCUE KAT-TUN	5. Lφve Rainbow 嵐
6. ひまわり 遊助	6. Troublemaker 嵐
7. THE HURRICANE EXILE	7. Monster 嵐
8. 悪魔な恋／NYC 中山優馬	8. Love yourself KAT-TUN
9. Loveless 山下智久	9. This is love SMAP
10. BANDAGE LANDS	10. また君に恋してる 坂本冬美
11. THE MONSTER EXILE	11. BREAK OUT! 東方神起

当時、AKB の成立ちは旧来のアイドルグループとは異質のモノとして扱われており、AKB48は「会いに行けるアイドル」をコンセプトに専用の劇場にて日替わりのメンバーで、ほぼ毎日公演を行うことを特徴としていた。これは現在も続いているが、マスメディアを通じた遠い存在ではなく、ファンがメンバーを身近な存在として感情移入し応援して、その成長過程を共有するスタイルをコンセプトとしている。それまでのアイドルからすれば新しいもののようにも見えるが、彼女らには所属事務所があり、ボイストレーニングを受け、ダンスレッスンを受け、自身のイメージが十分に作られている点などからしても本質的には旧来のアイドルと違いはない。あくまでグループとしての売り方たる“商売”的な違いがあるに過ぎないだろう。

また、この頃から年々CD セールスが落ち込んでいることを耳にするようになったが、音楽配信サービスが充実してきたこと、レンタルCDをmp3データとして保存し聴く環境があること、楽曲そのものに目新しさがなくなっていることなどが影響しているのだろうか。一世代前の宇多田ヒカルや浜崎あゆみ、倅田來未のようなアーティストがピークアウトした時期とも重なる。

#### 4. 考察

梨本ういが「くたばれ PTA」を生み出した時期は、行き過ぎた金融商品のサブプライムローン債の破綻から政治や経済的にも未来が見通せない混沌とした時期と重なる。これは昨今の感染症騒ぎに端を発する政治、経済、文化を含め様々な諸問題が噴出した時期と似ているのではないだろうか。また、梨本自身が22歳の大学4年生という多感な時期の、やり場のない感情をどう表現すべきか、表現できる手段は何であるのかを模索し、そのひとつとしてVOCALOIDに辿り着いたことから生まれた曲といえる。彼自身の表現力は言うまでもないが、ソフトウェアそのもの、作曲の為のハードウェア環境が比較的整いやすい状況、そして、当時の政治経済情勢などと相まって「くたばれ PTA」が生み出されたのは必然とは言えないだろうか。また、当時の10代や20代前半の世代はVOCALOIDを用いて自らプロデューサーとして自身の感情を表現できるとともに、それを動画サイトで配信し、同様の人間と影響し合う環境が整ってきた初期に才能を示したカリスマ的存在のひとりなのだろう。

彼ら世代が大衆に対して自己表現を行なうために芸能事務所のオーディションやスカウトといった手順（しきたり）を通して漠然とメジャーな芸能界を目指すのではなく、ひとりのアーティストとして“自分とは何か”、“社会とは何か”、“社会とは抑圧を強いる存在に過ぎないのか”等の疑問を直接VOCALOIDの楽曲にぶつけてサブカルの中に自己表現を行なった梨本ういはその創世記の表現者であり、SNS時代を迎えて久しい昨今でも色褪せていない。それは「Ado うっせえわ」と同様に人間の本質をついているからに他ならない。経済や社会情勢が不安定な時期にはこうした曲が生まれやすいのだろうか。

なお、Youtubeにアップロードされている「くたばれ PTA」（オリジナル版）へ寄せられているコメントからは、いつの時代も社会への不満、親世代への不満、常識とされてきた意味のない儀式儀礼に対する不満が示されている。また、そう感じてきた自分たちが10年を

経過して更に下の世代からそうした目で見られることを受け止める様子すら伺える。以下に一部コメントを抜粋し掲載する。

『最近流行ってる曲が「乱暴な言葉を使った歌詞で子供に悪い影響を与える」って言われて、小学生の頃に聴いてたこの曲を思い出して帰ってきました(4ヶ月前のコメント)。』

『PTA主催の食事会の後、二次会のカラオケ行ったらものすごい真面目で優等生なPTA会長の娘さんがこれ歌って空気が凍った(4年前のコメント)。』

『うっせえわキッツとか思ってたら、くたばれPTAにハマってた頃思ひ出して、歳とったんだなと悲しくなりました(5ヶ月前のコメント)。』

『中学生の頃に友達とこの曲カラオケで爆音で歌ってた私、20代になって教育関係の仕事してる件...うっせえわの話題で戻ってきて時の流れに泣きそう(5ヶ月前のコメント)。』

『小学校とあって、子供たちの個性を大切に〜とか言ってるけど個性を潰しまくってる気がする。んで無個性が良い子、個性のある子が悪い子になる気がする(1年前のコメント)。』

梨本ういはVOCALOIDを用いて10年という時を経ても通じる楽曲を提供し、うっせえわの作詞・作曲者であるsyudouのようなアーティストへ影響を与えた現役の表現者であり功績者と知ることができた。

現在はSNSを始め多くの方法で自分を表現できる環境にある。表現の多様化といったよいだろうか。しかし、多様化が進むほどそのどれもが魅力を失い、かえって画一化へ向かうのが常と思うが、VOCALOID世代の発信力や表現力は突出しているように感じられる。言葉、音楽、デザイン画を駆使した動画作品を生み出せる世代の活躍はどこまで広がるのだろうか。既にそうあるように、政治宗教を問わず、世界中の人々から共感される作品が多く生み出されていくのではないかと思う。また、昨今、感染症騒ぎに端を発した政治問題や経済問題が山積する中、日本の社会はこれからの数年間特に混迷を極めるものと予想される。こうした時代の転換期には様々な表現者が登場することだろう。

#### <参考>

- ※1 [時事通信社が選ぶ10大ニュース\(2009年\)特集](#)
- ※2 [時事通信社が選ぶ10大ニュース\(2010年\)特集](#)
- ※3 [J-POP年代別ヒットアルバム・シングル名鑑2009 ブックオフ・オンライン](#)
- ※4 [J-POP年代別ヒットアルバム・シングル名鑑2010 ブックオフ・オンライン](#)